

## 実践記録

学校名/学年	小学校／6年	
教科等：单元名	道徳：「やっぱり気になる」（異なる立場の尊重、謙虚：寛容。情報モラル）	
キーワード	掲示板・チャット・ルール・マナー・エチケット	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	<input type="checkbox"/> 情報社会の倫理 <input checked="" type="checkbox"/> 法の理解と遵守 <input type="checkbox"/> 安全への知恵 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ <input type="checkbox"/> 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c2～c3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c2-1：情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない
授業会場	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン教室 <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室〔        〕 <input type="checkbox"/> その他〔        〕	
学習の目標	掲示板やメール、チャットなどネット上のコミュニケーションでは、さまざまな人がそれぞれの価値観のもとで短い言葉でやりとりをしがちなので、誤解が生じやすく大きなトラブルに発展することもあることを知り、丁寧な言葉遣いや、見えない相手の真意を汲み取ること、異なる意見を受け入れることや、時には受け流すことも大切であるということに気づく。	
使用教材	教材名	・「やっぱり気になる」6年生の道徳 ・事例で学ぶ Net モラル（掲示板・チャット）
	製作者	『やっぱり気になる』：6年生の道徳 文溪堂 事例で学ぶ：広島県教科用図書販売株式会社
	入手先（URL等）	文溪堂 <a href="http://www.hirokyou.co.jp/">http://www.hirokyou.co.jp/</a>

### ○展開

	学習活動	指導 評価◎
導入	1 掲示板の存在を知ってその機能を理解する。	・子ども達が関心を持ちそうな実際の掲示板を使って説明をする。
展開	2 道徳教材『やっぱり気になる』を聞きながらスクリーン写された掲示板の投稿内容（ワープロソフトで作成する）を見て主人公の気持ちを考えたり、自分ならどうするか考えたりする。	・掲示板に書き込むたびに傷つく言葉を書き込まれる主人公の気持ちに注目するよう声をかける。 ・気持ちが上手く通じなくてトラブルになったことや、次々に否定されて嫌だったことなど自分の経験を思い出してみる。 ・お互いに違いを受容しあえて関係がよくなった、経験がないか聞いてみる。 ◎ワークシートに見つけた問題を書き出す。問題が見つからない児童には自分だったら同じ場面で何に傷つくか、腹が立つか考えるよう声を掛ける
	3 コンテンツを見てネット上でのコミュニケーションの問題点を探す。	
終末	4 それぞれの見つけた問題点を発表しあって、まとめのページを見て問題点や心がけることを整理する。	◎コンテンツのまとめページを使って、感情的な短文になりやすい特徴を確かめ、そうならないために丁寧な言葉遣いや相手の立場にたった発言が大切なことがわかる。
	5 もういちど「やっぱり気になる」を聞いて自由に感想をかく。	◎見えない相手の真意を汲み取ったり、異なる意見を受け入れることも大切であることに気づく。

### ○授業の成果

・道徳教材の補足として行った。情報モラルに関する授業をパソコン室で行うと、扱うトラブルがインターネットやメールなどの特殊な場面や状況での問題だと捉えがちな児童であった。今回、道徳教材の補足として情報モラルの問題を扱ったことで、情報モラルは今までの道徳と深く関わっていることや、特殊な状況での気持ちや判断の問題ではなく、日常的な価値判断とつながっていることに気づいた児童もいた。

### ○指導のポイント・留意点

・掲示板を利用したことがない児童が多いので、ワープロソフトを使って、投稿された文が順番に画面に出るように表示して、主人公の気持ちの変化に寄り添いやすくなるようにした。  
 ・道徳教材の「異なる立場の尊重」や「謙虚：寛容」といった内容を押さえた上で情報モラルの学習に移った。  
 ・実際の掲示板にはアラシやなりすましがあること、不快な投稿については「流す」「スルー」という対応の仕方もあることを知識として伝えた。